

学習課題(小学校4年生)

【社会】



＜学習内容＞「お菓子作りがさかんなまち・帯広」

◆お菓子作りがさかんなまち・帯広について、教科書142～149ページや地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに学習しましょう。

(1) 帯広市でおかし作りがさかんななわけについて、下の（ ）にあてはまる言葉 から選び、書きこみましょう。

- ・十勝地方には、地元で生産された(①)でしつのよい農作物を加工する(②)工場やにゅうせい品工場があります。
- ・地元で生産される^{あずき}小豆やさとう、にゅうせい品、たまごなどはお菓子作りの最高の(③)です。
- ・原料がすぐ(④)にあることがお菓子作りがさかんになった大きな理由の一つです。

新せん ラーメン せいとう 原料 遠く 近く

漢字では「製糖」と表します。

(2) 教科書 142～149 ページでは、宮城県石巻町の「すずり」が取り上げられています。お菓子作りがさかんな帯広市の様子と比べ、気付いたことを取組シートに書きましょう。

※お菓子作りと同じところはないかな？

※「雄勝すずり」の原料はどこでとれるのかな？

(3) 「お菓子作りがさかんなまち・帯広」の学習をふり返り、【やってみよう】にちようせんしましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします

- ・この学習では、お菓子作りのさかんな帯広市の様子について学びます。ここでは、教科書の例(宮城県雄勝町のすずり作り)も取り上げました。帯広市のお菓子作りの様子との共通点に着目することで、地域の地形や気候などの特色を生かしてまちづくりを行ってることについての理解が深まります。

【やってみよう】◆「お菓子作りがさかんなまち・帯広」についての学習をふり返りましょう。

帯広市では、どうしてお菓子作りがさかんなのだろうか？

帯広市ってどんなまち？

- 平野のほぼ中央
- 人口約 万人
- 市内にたくさんのお菓子店がある
・「スイーツめぐり券」をつくる
・有名なお菓子のお店がたくさん

原料がたくさん
にゅう牛
てんさい
原料がすぐ近く
だから
お菓子作りの
さかんなまち

新せんでしつのよい原料

- 十勝地方は雨が少なく、晴れの日が多い
- 全国でも有数の畑作地たい
- 新せんでしつのよい農作物
- 工場
・にゅうせい品工場
- すぐ手に入れる
・小豆、たまご、などの原料

①上の黒板の図の中の [] にあてはまる言葉を右の [] からえらんで書きましょう。

十勝　せいとう　ぶたどん
さとう　17　帯広

②「お菓子作りがさかんなまち・帯広」の学習をふり返って考えたことを書きましょう。

[]

